

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な開発目標(SDGs) に関する活動報告



マルタスギヨ株式会社

Ver.2023

持続可能な開発目標(SDGs)への取り組みについて

当社は持続可能な開発目標（SDGs）に対して様々な取り組みを行いました。その内容を次ページよりまとめさせて頂きました。

なお、その一環として持続可能な開発目標（SDGs）の理解を当社社員にも深めてもらうべく、2022年より勉強会を始めております。

勉強会の風景



取り組み1

2 飢餓を
ゼロに



6 安全な水とトイレ
を世界中に



12 つくる責任
つかう責任



海のエコラベル
持続可能な漁業で獲られた
水産物

MSC認証
www.msc.org/jp



〔MSC認証について〕

その漁業で獲られた水産物を、流通から製造、加工、販売に至る全ての過程において「CoC認証」を取得した企業が適切に管理することで、初めて「海のエコラベル」のついた製品が消費者の食卓に並べられるようになります。

当社は、2019年7月にMSC認証を取得しました。

取り組み2

5 ジェンダー平等を
実現しよう



〔ハッピーパートナー企業認定〕

新潟県では男女が共に働きやすく、仕事と家庭生活等が両立できるよう職場環境を整えたり、女性労働者の育成・登用などに積極的に取り組む企業等を「ハッピー・パートナー企業（男女共同参画推進企業）」として登録しております。当社では、2019年9月より登録頂いております。

取り組み3

8 働きがいも
経済成長も



[みつばち企業認定]

障がい者雇用促進法により障害者の法定雇用率が定められています。当社の新潟市の各事業場ではその法定雇用率を達成しており、新潟市より新潟市障がい者雇用企業認定事業（愛称：みつばち企業認定制度）で、理解・積極・継続のすべての項目で認定して頂いております。

取り組み4

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



[地域貢献]

新潟県、新潟市でのイベントや取り組みへの協賛を行っております。また、キャリア教育等に講師の派遣や地域の学校と連動し、工場見学を行っております。

取り組みや協賛

にいがた鮭プロジェクト（主催：新潟日報社、共催：新潟県）・あきはなび（あきはなびまつり実行委員会）等々

取り組み5

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



〔太陽光発電の導入〕

当社では、CO2の削減、脱炭素経営を目指し、太陽光発電システム（PPA）を導入しております。

〈阿賀野センター〉

2021年5月

阿賀野センターの電力需要の10分の1を太陽光で賄うことでしたが、実態として東北電力が供給する10%以上の電力量の削減を実現しております。

〈小須戸工場〉

2023年11月

阿賀野センターの実績を活かし、小須戸工場の電力需要の10分の1を太陽光で賄うことを目指しております。

なお、阿賀野センターでの導入については、“新潟県中小事業者向け脱炭素ガイドブック”等で紹介して頂いております。

取り組み5

新潟県中小事業者向け脱炭素ガイドブック掲載記事

CASE 03 食料品製造業

マルタスギヨ株式会社 (新潟市北区) MARUTASUGIYO

事業内容：海産物の加工、製造、販売
従業員数：356名(2022年11月時点)

メリット

- 太陽光パネルはPPA*で設置したため、初期費用・設置後の管理が不要。停電時用の配線工事も行い、防災対策に。太陽光パネルは、緑化施設に当たるため緑地対策にも。
- 省エネ型設備への更新で、電気代の大幅削減に。また、LED化したことで作業場が明るくなり、作業の効率化にも。

※P12「コラム：PPAモデルとは？」参照

課題

- 設備の導入や更新は費用の捻出が課題で、補助金の活用が重要に。補助金は工事の期限が決まっているため、早めの計画作成が必要。
- 従業員の理解が得られるか心配だったが、作業環境が良くなり、脱炭素の取組への理解に繋がった。

将来

- 建物のZEB*化。最新設備の導入で快適な作業環境と生産性及び企業価値の向上を目指したい。

※Net Zero Energy Buildingの略で省エネと創エネで建物で消費するエネルギーをゼロにすることを旨とした建物のこと



取組事例



工場の屋根に太陽光パネルを設置。発電した電力は工場内で自家消費。



工場・事務所の照明のLED化、冷蔵庫・冷凍庫などを省エネ型設備に更新。

同業種によるほかの例

- 冷蔵庫・冷凍庫：霜取り機能の運転時間の見直し・庫内の温度の管理や見直し
- ボイラー：省エネ型設備への更新
- ヒートポンプ：導入による廃熱の回収と活用